

7. 看護専門学校

1) 教務関係

(1) 教育課程

1・2年生は新カリキュラム、3年生は旧カリキュラムの運用であった。新カリキュラムの2年次には新設科目や科目構成の変更が多いため、担当講師との連絡・調整を密にし運用した。授業運営にあたっては付属病院との連携をさらに深め、専門分野Ⅱの演習の強化を図った。また、学生による授業評価の対象科目を拡大し、授業・実習指導改善のための努力を進めた。

国家試験対策については、国家試験対策委員会の委員を中心に、各学年の対策を立案・実施している。4月にガイダンスを行い、年間を通して学内模試・業者模試を実施、特に必修問題対策を強化し年間5回、合計11回実施し、夏季休暇前に予備校講師による2日間の専門基礎講座を行った。前年度まで後期から実施していた実習のインターバル中の学内学習を前期から実施し、学習時間の確保、学習の支援を行った。学生個々の対策については、試験結果を分析し面接等で随時学習状況を確認し、継続指導を行った。

12月の臨地実習終了後には、専門分野の科目を中心に専任教員による補講を実施した。

合格率は94.8%（全国平均91.8%）であった。

卒業式は東日本大震災による影響を考慮し中止となり、大学院講堂にて卒業証書授与式を施行した。

特別講演会：(1) 5月8日（土）『白血病から学んだこと～生きていることの喜びを伝えたい～』

講師：大谷 貴子氏（全国骨髓バンク推進連絡協議会会長）

(2) 11月27日（土）『歌うことは生きること～日本縦断1万2千キロ～』

講師：森 圭一郎氏（シンガーソングライター）

(2) 教員組織

組織の変更はなく、平成22年度の専任教員数は16名。

(3) その他

- ① 1・2年生の保護者会に加え、今年度は3年生の保護者会を夏季休暇中に開催した。
- ② 一般入試の2期試験を導入。受験生確保対策を積極的に行った。結果、オープンキャンパス参加者・受験生ともに増加した。
- ③ 精神看護学実習施設の開拓・変更を行い、新施設での実習を開始した。
- ④ 大教室の視聴覚機器、2・3年生の机・椅子の更新をし、学習環境の改善を図った。

2) 学生関係

(1) 健康診断について

	総 数	実施者						備 考
		内科	胸部 X-P	耳鼻科	眼科	検尿	採血	
1 年生	103	101	103	/	/	/	102	
	100.00%	98.06%	100.00%	/	/	/	99.03%	
2 年生	106	106	105	/	/	/	/	
	94.64%	100.00%	99.06%	/	/	/	/	
3 年生	100	99	100	100	100	99	/	
	98.04%	99.00%	100.00%	100.00%	100.00%	99.00%	/	
合 計	309	306	308	100	100	99	102	
	97.78%	99.03%	99.68%	100.00%	100.00%	99.00%	99.03%	

(2) 公認クラブ

	クラブ名	顧問教員	部員数	部長名	副部長名	会計	部室番号
文化 部	管弦楽	寺田阿津子	12	石田 愛		中西 ひわ	229
	軽音楽	本間 理予	14	小林 良徳	増田 駿	栗原 良太	227
運 動 部	バトミントン	五味 明子	10	井上 瑞貴	大瀧由佳里	氏家佳奈子	114
	バスケットボール	小野寺ひで子	12	森崎 知里	縄田 三幸	森 由季菜	228
	軟式テニス	五味 明子	6	石原 早織		石渡 瞳	112
	ダンス	小野寺ひで子	19	有賀麻奈美	田村 美幸	杉田 汐里	113

(3) 奨学金受給者

		1 年生	2 年生	3 年生	合 計
杏林大学医学部付属看護専門学校学生修学貸与金		71	76	73	220
日本学生支援機構奨学生	第一種奨学金	5	5	2	12
	第二種奨学金	11	24	20	55
東京都看護師等修学生	第一種貸与	2	2	0	4
	第二種貸与	5	2	2	9

* 併給は、それぞれの人数に含む。

(4) 卒業後の進路

第34回生卒業生	97名		
進学	3名		
就職	88名	内訳：杏林大学医学部付属病院	72名
		他院	16名
その他	6名		

(5) その他

- ①杏祭は三鷹キャンパスの医学部・保健学部と日程を合わせ実施。台風接近の悪天候であったが開催の目的はほぼ達成された。
- ②学校通信は年2回発行（7月・3月）し、各家庭に郵送した。
- ③付属病院3病棟立替工事に伴い、3年生の更衣室は2病棟1階D棟に、看護医学教育研究棟5階に設置していた自習室は廃止となり、教員用更衣室も移転工事がされ移転した。
- ④校内のトイレの改修工事を実施、アメニティの改善が進んだ。